

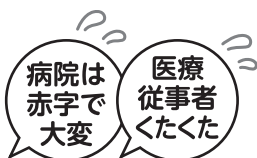
# いますべきは

# コロナ対策!



現場の人に感謝と安心を

## 医療現場の安心は 府民の安心!



大阪府のコロナでの死者は院内感染が4割超。「救急医療の最後のとりで」である3次救急の受け入れがストップするなど、大阪府の脆弱な医療体制が明らかになりました。またコロナ患者の受け入れを問わず、多くの病院で危機的な経営状況です。

- PCR検査の拡充
- 減収の医療機関に補助金
- 公立病院の統廃合計画を止める
- 保健所を増やす
- 感染症研究の基幹、「大阪健康安全基盤研究所」を公立に戻す

自粛と補償はセット

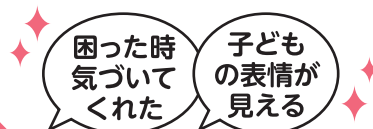
## インバウンドだのみから 新しい大阪経済へ転換

感染症拡大は、自己責任や個人の努力では解決できません。自粛とセットで補償があれば倒産せずにもつ会社があります。インバウンド(訪日外国人観光客)は98.9%減。大阪経済の方向転換が必要です。

- 売り上げが減少した事業者への給付金支給は複数回で! 対象は拡大を!
- カジノ誘致は中止
- 地場産業・ものづくりの振興
- 社会に必要な不可欠な介護・保育、清掃、配達など「エッセンシャルワーカー」の賃金保障・正規雇用化で安心できる働き方に

安全と手厚いケア

## 一人ひとりの声が届く少人数学級へ



長期休校の影響で「夏休みは10日間」「小学校1年生から7時間授業」など、子どもたちに負担がかかっています。分散登校で、「3密」回避・手厚い教育ができる少人数学級の良さを実感済みです。

- 一学級は20人程度の人数で
- 大阪市をはじめ小学校の統廃合計画を止める

コロナ禍で避難所は?

## 災害に備えて 万全の対策を

毎年のように起こる大規模な災害。今年も、九州で豪雨による甚大な被害が続出しています。「3密」(密閉、密集、密接)状態の避難所は危険です。コロナ禍での避難所や避難時の生活環境の改善は、住民の生活や人権を守る重要な課題です。こんなときこそ自治体は、役割を発揮するため全力を!



大阪府も市町村も

# 住民の安全とくらしを守る 防波堤の役割こそ!